

大学で教えるということ

—地方私立大学の教育現場から—

大学で講義を担当することになったら、どのように授業を行っていけばよいのでしょうか？

本講習会では、博士課程修了後の「最初の就職先」になりうる地方私立大学を事例に、「大学で教える」ことについて実践的に学ぶ機会を提供します。

第1部は、アイスブレイクという手法を使って大学での授業支援に取り組んできた方による、「学生が学ぼうとする」環境を作り出すことに関するワークショップです。第2部では、大学教員として2-3年目を迎える本学修了者を招き、授業現場での苦労や工夫について、「現在進行形」のお話をさせていただきます。院生が「大学で教える」ということについて学べる、数少ない機会です。

奮ってご参加ください。

- 対象者 女性本学大学院生・ポスドク（研究科、課程を問いません）
- 日時・場所 **2月4日（木）13:00-18:00 @マーキュリータワー3405室**
- 参加申込先 キャリア支援室・大学院生担当（宮澤）career-grad@dm.hit-u.ac.jp
●できるだけ**事前申込**（氏名・研究科・学年を明記）をしてください

第1部(13:00~15:00) アイスブレイクの探究——学びの場の雰囲気づくり

中西 勝彦 氏(京都文教大学非常勤講師)

ファシリテーター育成の科目を担当。参加者の緊張をほぐし、カタイ雰囲気を和らげるための「アイスブレイク」に焦点をあて、学生が「前のめり」になる場をつくる技と心についてワークショップ形式で考えます。

第2部(15:15~18:00) 「現在進行形」の報告——先輩たちの授業づくり

加藤 友佳 氏(岡山商科大学法学部講師)

2013年本学法学研究科博士後期課程修了。「税法」「税法特殊講義」「日本国憲法」「法学入門」などの科目を担当。

三浦 綾希子 氏(中京大学国際教養学部講師)

2013年本学社会学研究科博士後期課程修了。「教育学」「国際教養入門」などの科目を担当

井上 征剛 氏(山梨英和大学人間文化学部准教授)

2012年本学言語社会研究科博士後期課程修了。「音楽の表現」「子どもと文化」「比較文化・思想論」「英米の児童文学」「ドイツ語」「英語」「英米の文化」などの科目を担当。